

平成23年第3回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者	
9月13日(火)	午前	1	中 島 清 一 議員
	午後	2	渡 邊 雄 三 議員
		3	本 多 了 一 議員
		4	樋 浦 恵 美 議員
		5	齋 藤 信 行 議員
14日(水)	午前	6	埴 豊 議員
		7	中 島 義 和 議員
	午後	8	中 山 眞 二 議員
		9	小 林 由 明 議員
		10	土 田 昇 議員
		11	長 井 由喜雄 議員
15日(木)	午前	12	山 崎 雅 男 議員
		13	大 原 伊 一 議員
	午後	14	夕 ナ カ ・ キ ン 議員
		15	阿 部 健 二 議員
		16	齋 藤 紀美江 議員

平成23年第3回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	中 島 清 一	<p>1. 集中豪雨対策について</p> <p>「新潟・福島豪雨」は記録的な豪雨となり、激甚災害に指定された。8月23日現在における人的被害は、亡くなられた方々や行方不明者5人を含め11人、住宅被害は全壊や半壊など8,359棟、被害額は7年前の7・13水害を上回る1,630億円に上り、農林水産被害が明らかになればさらに被害額は増加するとのことである。</p> <p>(1) この度の豪雨による教訓は何か</p> <p>(2) 被害状況と対策について伺う</p> <p>①家屋、農作物について</p> <p>②道路冠水について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県央・燕三条駅付近 ・ 井土巻地内の弥彦線アンダー道路 ・ 殿島（イオン、燕三条住宅展示場付近） <p>(3) 集中豪雨対策として吉田日之出町南児童遊園地内に440㎡、吉田産業会館駐車場に480㎡の地下式貯水槽を埋設したが、効果についてはどのように評価しているか。</p> <p>(4) 本市を流れる信濃川、中ノ口川、大河津分水いずれの河川も水位が上昇して危険な状態になったものと推察するが問題はなかったか。</p> <p>(5) 地震や風水害など大規模な災害が発生した際には県境を越え、同時に被災する可能性の低い遠隔地の自治体との間で相互応援体制、災害時応援協定を結ぶことを検討すべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 原発問題について</p> <p>(1) 福島第一原発事故を受けて、原子力防災に関する市町村勉強会が去る7月12日に開催されたところであるが、どのようなことを学ばれたのか。また、学んだことを今後どのように生かしていくのか。</p> <p>(2) 原発から半径30km圏外においても高い放射線量が測定されている。本市として放射線検査の測定機器を備えておく必要があるのではと考えるがいかがか。</p> <p>3. ふれあいトークについて</p> <p>市長と語る未来の燕市「ふれあいトーク」が市内の3会場で実施された。市民の参加状況はどうであったか。実施して得るものがあったと思うが市長の率直な感想を聞きたい。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	中 島 清 一	<p>4. 県立武道館の誘致について</p> <p>去る8月24日、県立武道館の誘致に向けて、市長をはじめ議長や体育関係者が県知事に陳情されたが、誘致実現に向けて次なる一手をどうする。</p> <p>また、市民から2万2千余の署名が寄せられたとのことであるが、署名活動をしていることを知らなかった市民から「私も署名したかったのに」という声がある。今後、また第2次署名活動を行う考えがあるか。</p> <p>5. 福祉問題について</p> <p>在宅介護手当の見直しについて、市長は要支援1から要介護2まで手当の支給を無くして、医療や子育て支援など福祉サービスの提供を図っていきたいという考え方を示されたが、理解を得るにはさらなる具体的な施策を提示する必要があると思うが市長の考えは。</p> <p>6. 環境問題について</p> <p>夏の電力不足対策としてピークカット15%運動をはじめ、サマータイムの導入や企業においても土・日曜日を勤務日とする休日の変更などさまざまな取り組みが展開された。一般家庭においても今までの生活を見直すよいきっかけになったのではないか。今までの検証と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 市役所においては101名の「節電委員」を配置して積極的な取り組みが展開されたところである。8月までの活動や実績はどうであったのか伺う。</p> <p>(2) 太陽光、風力発電などの普及を目指す再生可能エネルギー特別措置法案が可決された。市有地に中規模太陽光発電所の設置を検討されてはどうか。</p> <p>7. 教育問題について</p> <p>県教育委員会の調査によると8月24日現在、耐震化の前提となる耐震診断が県内の9市町が完了していないとのことである。その中に本市が含まれていたが、本市における耐震診断実施率は89.8%、耐震化率は75.0%となっている。今後における耐震診断の終了時期や耐震化計画について伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
2	渡 邊 雄 三	<p>1. 防災計画について</p> <p>(1) 東日本大震災を受け、今全国各地で地域防災計画の見直しが検討され、学校や地域への防災教育の重要性が再認識されている。本市はどのような対応をしているか。また、今後していくのか考えを聞きたい。</p> <p>①小学校、中学校の児童生徒への防災教育について今後の対応はどのように考えているのか。</p> <p>②災害が起きたときに一般市民への情報伝達の方法として、防災ラジオ等で発信しているが、不十分であると思うが、今後どのような対応を考えていくのか聞きたい。</p> <p>③自主防災の重要性、意識向上をどのように計っていくか。防災セミナーなどの実施は考えているか。</p> <p>(2) 東日本大震災で東京電力福島第一原発事故の影響で節電にも取り組まなければならない。「日本全国ピークカット15」をスローガンに企業も、自治体も、一般家庭も、取り組んできた。今後、54基ある原発すべてが停止する可能性がある。そうなったときに今まで以上に節電が必要であると思うがどのような対応をするのか考えを聞きたい。</p> <p>①今年6月から各庁舎も節電の協力をしているが、今年7月分、市庁舎全体の電気使用量と、昨年と比較してどのくらい消費電力の軽減ができたのか聞かせていただきたい。</p> <p>②今まで以上に消費電力を減らすためには、一般家庭であれば消費電力の少ない家電製品に買い替えるとか、照明器具を白熱灯からLEDにすることが考えられるが、市として初期投資の高い白熱灯からLEDに買い替えた世帯に補助制度を検討する考えがあるか聞きしたい。</p> <p>③市が管理する施設、また、防犯灯、水銀灯等は今後LED化していくのか。するとすればどのような方法で進めていくかお聞きしたい。</p> <p>2. AEDの設置状況について</p> <p>(1) 全国では、病院以外で約2万人が突然の心肺停止で亡くなっており、この数は交通事故死の約2倍にもなっている。最近では、元サッカー日本代表の松田直樹選手が練習中、心筋梗塞で倒れ8月4日に亡くなっている。もし練習場にAEDがあれば、との声もあった。最近特にAEDに対する関心が高くなっている。今後市としても必要と思うが、そこでお聞きします。</p> <p>①本市の設置状況、市の施設以外、市内で何個設置してあるか。</p> <p>②AEDを効果的に使用するために救命講習会の受講促進が大切であると思うが、市としてどのような体制で講習会を開催しているかお聞きします。</p> <p>③今後、AEDマップのような設置場所が明記しているものが必要と思うが、どのように考えているかお聞きします。</p> <p>④小学校高学年の授業で人命を守る大切さを学ぶためにも実習導入を提案したいがどのように考えるかお聞きします。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
3	本 多 了 一	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 社会保障と税一体改革案の決定の中で消費税の増税が含まれているが、それに対する市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 社会保障の財源に消費税を充てる政治手法についてどう考えるか。</p> <p>(3) 原発の安全対策について全国市長会を通じて強く要望するとしていたが、どのような内容になっているか。</p> <p>(4) 日本政府が原発からの撤退を決断し、原発ゼロにする期限を決めたプログラムをつくるよう国に要請してもらいたいがどうか。</p> <p>2. 非核平和都市宣言に関連して</p> <p>(1) 原爆パネル展の成果はどうだったのか。</p> <p>(2) 新庁舎の前に非核平和都市宣言の看板を立てる計画はしているか。</p> <p>(3) 燕庁舎脇の非核平和都市燕市の看板の字が薄くなってきているが、見えやすくするよう求めるがどうか。</p> <p>3. 地場産業対策について</p> <p>(1) 異常円高での状況をどう見ているか。</p> <p>(2) 燕市の産業対策を打ち立てることからしても、市内業者の実態を調査する必要があるのではないか。</p>
4	樋 浦 恵 美	<p>1. デマンド交通システムについて</p> <p>デマンド交通システムは「〇日〇時、〇〇へ行きたい」というデマンド（需要）に応じる、近年注目されている画期的な交通システムです。</p> <p>自宅と目的地の間を楽に往復できる“住民の足”として、デマンド交通システムの導入について、市の考えをお伺いします。</p> <p>2. 学校給食センター建設について</p> <p>学校給食センター建設の方向性として、「吉田及び分水学校給食センターを一つの施設として統合し、施設稼働時は市の直営とするが、その後の運営については、民間委託を検討します」と示されています。</p> <p>(1) 民間委託を行う場合の業者の選定基準はあるのか。</p> <p>(2) 「施設稼働時は市の直営とする」とあるが、いつまでのことを言うのか。</p> <p>(3) 学校給食センターの統合により、配送距離、時間や予測できない災害時等の危機管理の対応について、どう考えているのか伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
4	樋 浦 恵 美	<p>3. 公共施設の跡地利活用について</p> <p>(1) 本年3月定例会において、吉田庁舎、吉田旭保育園などの跡地利活用について質問をさせていただきました。「吉田庁舎は、市民生活に密着した新たな交流空間としてのスペースを予定しており、幅広い年代の人たちが交流できる利便性の高い場所にしたいと考えている」「吉田旭保育園については他の保育園も含め、周辺施設との役割分担を見据えて、今後検討していきたい」との答弁をいただいたが、その後、具体的な検討をされたのかお伺いします。</p> <p>(2) 旧吉田南小学校跡地の住宅団地の造成用地については、「民間業者に一括売却の手法を検討する」と伺っているが、地域の方から不安の声を聞いています。地域の方と語り合い、十分な理解を得ていくことが重要であると思いますが、市の考えをお伺いします。</p>
5	齋 藤 信 行	<p>1. 可動堰改築事業に伴う残土仮置き契約後の対応・治水・排水対策について</p> <p>今秋通水となる新可動堰、計画どおり工事が進捗していることは、治水機能が一步向上することであり、安心度が高まり、地元住民の一人として大変うれしく思っております。</p> <p>工事施工に当たり、土砂の仮置き場として借地契約を結んで協力しています新堀向野地区は、契約期限が当初より短くなり平成25年3月までとなりました。土砂の仮置き場となっているエリアには、旧西川の廃川敷きであった広い市有地も存在していると思います。</p> <p>市有地を含めた本エリアは、分水町時代に北部開発と称した大規模開発計画がありましたが、急激な社会情勢の変化等により、計画は第1期工事で終了し今日に至っています。地権者は、市による土地の有効利用を強く望んでおります。</p> <p>先般、再生エネルギー法案が可決され、電力事業者は自然エネルギー発電による余剰電力の買い取りが義務付けられることになりました。</p> <p>金沢市では、再生可能エネルギー導入に関し、産学官による研究会を設置し、「エネルギーの地産地消」を目指した取り組みが始まったようです。</p> <p>当市においても、丸山議員の質問で、吉田南最終処分場跡地における自然エネルギー活用を検討されていると議会答弁がありました。本エリアも災害時等における電力の確保も視野に入れた太陽光発電の一大基地として開発してはいかがかと考えるが、市長の考えをお伺いいたします。また、併せて河川の改修などを含めた中で平成9年の河川法の改正により、治水、利水に加え「環境」の部分の重要性が工事などでも言われるようになりました。一方、地域の意見を反映した河川整備の計画導入が盛り込まれました。そこで、工事後の環境部分で地元の考えなどを国・県へ要望はなされたかお伺いします。</p> <p>大河津分水路改修については、現在、策定中の信濃川河川整備計画に反映されることとありますが、策定過程において地元自治体の意見聴取で、「地すべり対策を含めた抜本的改修」と「右岸堤防の高規格化」の2点についても計画へ (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
5	齋藤 信行	<p>の反映を強くお願いしているとのこと。策定開始から3年程度経過していますが、計画の進捗状況や、市の意見はどう取り扱われようとしているのかお伺いいたします。信濃川本川では、熊森から大川津にかけて築堤工事が施工中であります。7月末の新潟・福島豪雨で、平成16年の7・13水害より水位が上昇し、地域住民が大きな不安を抱かれたことは承知されていると思います。一日でも早い築堤の完成を望みますが、豪雨以降、国へ早期完成等の要望活動はなされたのでしょうか。進捗状況も併せてお伺いいたします。</p> <p>次に排水対策についてお伺いします。</p> <p>中ノ口川も同様に新潟・福島豪雨で増水し、須頃郷排水機場の運転ができず、井土巻地内が長時間冠水したところ。市の玄関口が度々通行止めとなる事態を何とか解消しなければならないと考えるが、検証結果はどうだったのでしょうか。また、有効な対策はどのようにとられるのかお伺いをします。併せて中ノ口川の弱堤部対策もお伺いいたします。</p> <p>2. 新潟・福島豪雨の対応状況及び被害状況について</p> <p>7月末の新潟・福島豪雨での農作物の被害状況、各施設合わせて燕市内の被害状況についてお伺いします。</p> <p>3. 市長の目線について</p> <p>今回、なでしこジャパンがワールドカップで金メダルということで、佐々木監督がクローズアップされていますが、佐々木監督は「なでしこ力」の本で上に立つ者の目線が書かれていました。</p> <p>市長も職員、市民、産業界等いろんな立場に対しての目線があると思いますが、佐々木監督について市長の考えをお伺いします。</p>
6	埜 豊	<p>1. 今後の行政改革の行方について</p> <p>(1) 今年度以降実施される公共施設の統廃合計画と企画財政部の機能について</p> <p>(2) 計画実施に伴う財源について</p> <p>(3) 計画実施による財政効果の予測について</p> <p>(4) 平成27年度からの一本算定に向けて十分対応が見込まれるのか</p> <p>2. 産業経済問題について</p> <p>(1) 歴史的円高の状況下での地場産業の状況について</p> <p>(2) これからの地場産業を支える人材の育成と確保について</p> <p>(3) 燕地区商業地域での後継者問題と土地問題について</p> <p>3. 空き家対策について</p> <p>(1) 災害と空家問題について</p> <p>(2) ドーナツ化現象に歯止めをかけるための対策について</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
7	中 島 義 和	<p>1. 須頃郷排水対策について</p> <p>(1) 須頃郷排水対策、燕地域側では平成19年から22年にかけて事業完了した。三条市側、燕市側のそれぞれの事業効果はどうか。</p> <p>(2) 中ノ口川への排水がストップしなければイオン近辺の道路冠水は防げたか。時間当たり50mmをオーバーすれば限界だったのか。</p> <p>(3) 須頃郷地区排水対策検証会は、平成22年度2回、23年度2回開催し、効果的な排水対策を進めるとされているが、その後の検証会の協議結果は。</p> <p>2. 集中豪雨による河川敷農作物被害について</p> <p>(1) 7月末の集中豪雨で、中ノ口川及び信濃川分水路河川敷で冠水被害が発生した。河川敷耕地（農地）水稲作付け等共済加入可能とのことであるが、加入掛金率はどうか。今回の豪雨で被害申請面積はどんな状況か。</p> <p>3. 障がい者福祉施設の集約化を</p> <p>(1) 燕市における障がい者福祉施設は、合併前のまま各地域に開設、運営されている。老朽化した施設から徐々に集約し、障がい者にやさしい生活環境を整えることが必要では。</p> <p>(2) ゼロ歳から就学前までの心身の発達につまずきのある乳幼児、及びその保護者を対象とした療育訓練施設を。</p> <p>4. 不燃物最終処分場跡地利活用について</p> <p>(1) 県内の不燃物処理場跡地の利活用の実態について伺う。</p> <p>(2) 議員、職員で県が推奨している「雪国型メガソーラー発電所」を見学したが、参加職員の感想は。</p>
8	中 山 眞 二	<p>1. 産業について</p> <p>(1) 産業構造や外部環境によって、市内企業の景況感にバラツキを感じるが、市内景況とそれに対応した産業政策をどのように考え、具体的な対策としての予定はあるのか。</p> <p>2. 市有地の宅地造成・分譲について</p> <p>(1) 水道町4丁目、白山町3丁目の宅地造成について</p> <p>① 土地取得価格や取得の経緯、売り出し価格の決定方法、また、工事経費と収支報告を。</p> <p>② 本来、公の宅地分譲は、宅地の供給が足りないときに行うべきものと考えているが、売り地や売り家が多い昨今、あえて行う理由は何か。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
8	中山 真 二	<p>③宅地造成時に、隅切りを燕市では5㎡にしているが、近隣市町村は3㎡と聞く。場所によっては2㎡のところもあり、5㎡はいかにも大きい。</p> <p>そのせいで今回の宅地造成もそうだが、三角（野球ベース）に近い形の物件があり、面積の減少・形の悪さで、価格の面でもかなり低くなり採算性の面でも損をしている。隅切りの規制を緩和すべきと思うがいかがか。</p> <p>④白山町の売り出しが完成しているのに遅れているのは何か理由があるのか。</p> <p>⑤売り出しによる財政の好転はあったか。また、今後も遊休不動産の売却は続けられるのか。</p> <p>3. 幼保の統合について</p> <p>(1) 燕地区の南幼稚園と南保育園の統合が25年4月に迫っているが、幼稚園と保育園の制度や、子育て方針の違うものの統合についての具体的な姿が未だに見えない。あと1年半の期間しか残っていないが間に合うのか。もう少しスピードを上げて、早めに地域のコンセンサスを得ていかねばと思うがいかがか。具体案があるのなら示してもらいたい。</p> <p>(2) また、吉田地区には広大な敷地を有する吉田南保育園が、民営化され同じ年に新築される予定である。駐車場も広く快適な子育て環境が予想される。今後統合されていく他の市内の保育園等は、駐車場も狭く、建物も古くかなり劣っていると感じるが、今後このギャップをどのようにして埋めていくのか聞きたい。</p> <p>4. 市民サービスについて</p> <p>(1) ここ数年、特定検診（健康診断）の受診場所と受診日数が減り続けている。年配の受診者が多いので、受診する場所が多いほうがよく、減らした場所を復活してもらいたいのがいかがか。また、受診対象者、受診者の推移は。</p> <p>(2) 企業団地の側溝掃除（どぶさらい）は、合併前燕地区ではその団地組合の自己負担であったと認識している。合併後吉田地区に合わせて袋の配布や回収は市の負担となったようだが、その周知をしっかりとってもらいたいのがいかがか。</p> <p>(3) 井土巻須頃郷地区の排水対策について、ポンプ改修後排水対策は万全と思われたが、それ以上の想定外の雨にたたられ、2年連続の被害となった。今回は新潟地域振興局より排水ポンプの停止命令があり、抜本的な対策はどのようになっているのか。</p> <p>また、井土巻や東町地区にはハザードマップによると避難場所がなく、水害を想定して一階が使えない南公民館には2階にトイレがない。この地区の改善と、さらには市内全域の見直しをすべきと思うがいかがか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
9	小 林 由 明	<p>1. 地域活動の核となる方々への災害時の情報提供について</p> <p>(1) 地域活動の核となる自治会役員や民生委員などへの情報提供は、極めて重要な業務だと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 今回の水害時には、どのような手段でどのような情報提供を行ったか。</p> <p>(3) 今回の水害時には、十分な情報提供が行われたと思うか。</p> <p>(4) 十分な情報提供や、効果的効率的な情報伝達が行われるには、今後どのような方法が考えられ、どのように取り組んでいくか。</p> <p>(5) 災害の際、市民がどのような情報を欲するか、どのような伝達方法を望むのかなど、市民の意向調査を実施してはいかがか。</p> <p>2. 屋外運動場の安全管理について</p> <p>(1) 愛媛県今治市で、小学校の校庭から飛び出たサッカーボールをオートバイの80歳代男性が避けようとして転倒し、その際のけがが原因で死亡したとされる事故を巡り、ボールを蹴った当時小学5年生の少年の両親に、約1,500万円の賠償を命じるという大阪地裁の判決が今年6月27日にありました。同様の事件が起こらないよう、燕市において何らかの調査や対策は行われたか。</p> <p>(2) 市内運動場で、同様の事故が起こったことはないか。</p> <p>(3) 同様の事故が起こり得る箇所はないか。</p> <p>(4) このような事故を無くしつつも、伸び伸びと運動できる環境づくりのために、どのような取り組みを行うべきと思うか。</p> <p>3. 職員の接遇態度について</p> <p>(1) 職員の接遇教育について、どのような取り組みを行っているか。</p> <p>(2) どのような成果があったか。</p> <p>(3) 職員の接遇はどのようにあるべきと考えるか。</p> <p>(4) 接遇能力を高め「日本一気持ちの良い役所」を目指していただきたいがいかがか。</p>
10	土 田 昇	<p>1. 特養ホームの増設について</p> <p>(1) 平成23年2月1日現在で待機者数592名と承知しているが、その中で要介護4・5に該当する在宅者数はどのようになっているか伺う。同時にその認識についても伺う（病院・老健施設等々も含めて）。</p> <p>(2) 今年度3月末まで第5期計画について、県に計画書の提出が求められる。特養の増設が必要と思うが、その対応について伺う。</p> <p>(3) 市内の特養施設等々でショートベッド数は現在どのような状況になっているか。新しく開設する所も含めて伺う。</p> <p>(4) ベッド数29名以下の施設については、国、県の補助金額はどのように算出されるのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	土 田 昇	<p>2. 23年産米の放射性物質の検査について</p> <p>(1) 8月31日付けの新聞報道によれば、県は30日、2011年産米の放射性セシウムの濃度検査の結果、27、28日に新潟市など4市町の計11地点で収穫した早生品種からは検出されなかったと発表されたが、その中に燕市は含まれているのか。さらに8月11日付けで各農家に配布された県からのお知らせのチラシによれば、市・町・村単位の検査結果を確認の上出荷販売してくださいとしているが、市は今後どのように対応するのか伺う。</p> <p>(2) コシヒカリについても別途、29地点程度の検査を行います、としているが、今後はコシヒカリが重視されると思う。農家に不安がないように早く対応すべきと考えるが、市の対応について伺う。</p> <p>(3) 今後の食品の安全確保と農業生産、農家経済を守る立場から、今後の市の対応について伺う。同時に、放射能汚染の実態について正確な情報と、調査結果、系統的に実施する必要があると思うが、市の考え方について伺う(土壌検査等々も含めて)。</p> <p>3. 墓地建設(法花堂地内)について</p> <p>(1) 新聞報道によれば、墓地建設の申請が不許可になったと報道されたが、この間の経過と今後の対応について伺う。</p> <p>(2) 農地転用事業計画変更承認の内容について伺う。</p> <p>(3) 合併前も現在も、過去に答申保留案件があったか伺う。</p>
11	長井由喜雄	<p>1. 国保被保険者に無理なく取り組んでもらえる医療費削減の取り組みについて</p> <p>(1) 国保における調剤費の削減を重要課題として取り組むことについて</p> <p>国民健康保険の来年度の会計予測はいかがか。保険税引き上げを考えているのか。国保においては毎年のように翌年の保険税に関心を寄せざるをえない状況だ。言うまでもなく国の負担分が責任を負う割合となっていない中で、地方自治体は苦しめられている。</p> <p>現在保険者ができることと言えば保険税の引き上げか給付費を抑えていくしかない。保険税の引き上げは被保険者である市民の支持は得られない。</p> <p>こういう中で昨年8月に保険証と一緒に届けられた「ジェネリック医薬品希望カード」は、これまで調剤費が1億円単位で毎年増加してきた中で、初めて「調剤費の減額」という成果をもたらしたのではないか。</p> <p>ジェネリック医薬品の普及については国も力を入れているところだが、保険者である地方自治体の意識的な取り組みも広がっている。燕市においては約2,400万円調剤費が減額見込みとなったが、当局はこの事実をもっと大きく評価すべきではないか。</p> <p>私は「被保険者に無理なく取り組んでもらえる調剤費の削減」を重点課題として取り組むことが重要だと考えるが、当局は具対策をこうじる考えはあるか。</p> <p>(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	長井由喜雄	<p>(2) 給付費の削減を目標とした健康づくりの取り組みについて</p> <p>医者がかりが少なくてすむ生活は望ましい。そのための日常の健康づくりや、必要なときに通院するための判断ができることが大事だが、給付費の削減をも念頭においた取り組みになってきたか。また、今後の取り組みに対してはどうか。</p> <p>健康づくりのさまざまな取り組みが行われていることは承知している。市民の健康づくりと通院・医療費の関連を対比しながらデータを取ることはされてきたか。</p> <p>2. 原発問題と市民・子どもたちの健康について</p> <p>(1) 東京電力と安全協定を結ぶことが必要ではないか。</p> <p>燕市は柏崎刈羽原発から30キロ圏内にかかる。いま県内では上越市をはじめ、新潟市でも東京電力と「安全協定」を結ぶことを検討している。原発50キロ範囲に入る長野県飯山市でも安定ヨウ素剤の購入や空中放射線量測定器を購入するなど、異常な事態となったときに市民をできるだけ放射能から守る取り組みを始めている。</p> <p>安全協定は、原発のあらゆる異常事態に対して報告を求めたり、放射能発生時の異常事態時に市民の安全を守るための手立てについて具体化するなど、目に見えず広域に飛散する放射能に対応するために必要なものではないかと考える。燕市も東京電力と安全協定を結ぶことが必要と考えるがいかがか。</p> <p>(2) 子どもたちの健康に責任を持ち保育園、幼稚園および学校のほか、終末処理施設などでの放射線量の定期的な測定と公表を。</p> <p>8月22日に十日町市が行った幼稚園と保育園の放射能測定により、汚泥などから1キロあたり最大27,000ベクレルもの放射性セシウムが検出され、県民に大きなショックを与えた。燕市はこの事態を受けて放射線量の測定と公表をどのように考えているか。</p> <p>放射能は妊娠中の胎児への影響や、年齢が低いほど内部被曝による将来への影響が心配される。これらの現実から子どもを持つ親からは放射線被害の影響を心配する声が上がっており、保育園、幼稚園、学校をはじめ、終末処理施設などでの定期的な測定と公表は市民の安心安全にとっては不可欠ではないかと考える。市長の考えはいかがか。</p> <p>3. 脱原発を見越した再生可能エネルギーの取り組みについて</p> <p>(1) 脱原発と再生可能エネルギーへの転換はいまや重要なテーマとなっている。再生可能エネルギーの普及促進自治体として名乗りを上げてはいかがか。</p> <p>8月19日に昭和シェルのメガソーラー発電所見学の機会を得た。原発依存型から再生可能エネルギーへの転換は現在の技術力からしても十分可能なことと思う。不測の事態となったときに放射能を閉じ込める技術を持たないまま原発が推進されてきたと思うが、市長の原子力発電に対する考えはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	長井由喜雄	<p>また国会では再生可能エネルギー買取法案が可決されたが、基本的には電力の消費者がそれらの負担をかぶる中身だ。再生可能エネルギーの飛躍的普及を図るには国による国民転嫁なしの補助制度がどうしても必要と考えるが市長の考えはどうか。日本共産党は電源開発促進税などの「原発付加金」を活用して電気料金への転嫁を防ぐべきだと主張してきた。市長がすすめる燕市における再生可能エネルギー設備への補助制度も市単独の事業であって、国に対してこれら事業を後押しする補助政策を求めながら、再生可能エネルギーの普及促進自治体として名乗りを上げてはいかがか。市の補助制度活用状況と現状を受けての課題はなにか。</p>
1 2	山崎雅男	<p>1. 燕市内行政視察を行い施設等今後の重要課題について</p> <p>遊休・未利用となる財産も含め、売却可能となる財産については財源確保のため、積極的に売却を進めるべき。過日、総務文教常任委員会は市内行政視察を行ったが、実態を再認識し未来の燕市課題解決に向け次のことについて伺う。</p> <p>(1) 「たのうら燕」前市長時代に提案させていただいた日本海を一望できる夕日がまばゆい「安らぎの里燕霊園」としてインターネットで公売を提言。前市長は参考にさせていただき、新潟市から同意いただければ活用もできないこともないと答弁。その後どのような検討をされたのか。</p> <p>(2) 新たな歳入確保として情報周知範囲の飛躍的多数の入札者確保を願って「インターネット公有財産売却システム」を利用したの遊休市有財産「たのうら燕」は売却不調。問い合わせ、入札参加実施時期、入札参加予定者等々の内容、そして今後の具体的方向性を伺う。</p> <p>(3) 燕市としての土地保有面積、売却予定の市有財産の地区別所在と面積、売却に向けての進捗状況とその全貌がどのようになっているのか。</p> <p>(4) ①行政財産と普通財産における遊休未利用地はそれぞれどのくらいあるのか。 ②行政財産から普通財産へ区分が変更されることはあるのかどうか。市として定期的に財産区分変更の見直しを実施しているのか。</p> <p>(5) まるごとまちごとハザードマップで、大河津分水路が氾濫した場合を想定し、浸水する高さを分水地区13カ所の電柱に金属板で表示。分水庁舎付近が浸水の深さが3.7mで交差点があるが約100m付近が0.1m。平坦な地域で浸水の深さが余りにも違いがあるが、数値の算出、根拠を伺う。</p> <p>(6) ①県立武道館の燕市への誘致に向けて、22,850人の署名を添えて県知事に要望書を提出したが、署名の重みと認識、今後、建設実現に向けての動向と燕市民に対して、どのような取り組みを行い実現に向けて機運を高めていく考えなのか。 ②旧燕工業高校跡地、土地面積41,597.67㎡だが、武道館建設にはどのくらいの面積を必要とするのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
12	山 崎 雅 男	<p>③庁内検討委員会で旧燕工業高校跡地取得後、今まで時間をかけて協議してきたかと思うが、どのくらいの回数と検討内容。そして、県立武道館建設に向けての捉え方はどうなのか。</p> <p>④県立武道館建設誘致に向けて、旧燕工業高校跡地の建物面積 14,188.76 m²更地としての条件となるのか。更地としての場合プールを含め解体費用はどのくらいになるのか。</p> <p>2. 総合計画の取り扱いについて</p> <p>(1) ①今年度、総合計画前期基本計画最終年度であるが、達成状況と未達成についての理由や経緯など検証しているのか。また、平成24年度以降の後期基本計画についての捉え方について伺う。</p> <p>②前市長時代の総合計画と市長の主要政策について、どの程度反映されているのか。前市長と市長の意向と総合計画とのバランス、整合性について伺う。</p> <p>③これまで、前市長時代に策定されたさまざまな総合計画について、踏襲する考えなのか、更新されるのか、今後計画を進めるにあたり財源も含め、どのように取り扱いをするのか見解を伺う。</p>
13	大 原 伊 一	<p>1. 燕市行政改革大綱前期実施計画の進捗状況と後期実施計画の内容について</p> <p>(1) 行政改革大綱前期実施計画の進捗状況について「あれもこれもから、あれかこれか」への見直しは、進んでいるのか。</p> <p>①前期計画では、行政サービスのあり方の抜本的な見直しを行うとし、補助金交付の適正化の推進とあるがスポーツ関連の補助金・委託料についてお尋ねをいたします。</p> <p>今年度地域総合型スポーツクラブを各地区に設立する必要性があったのか。燕・吉田地区の市民から設立の陳情や要望は無かったと思うが、どのような経緯で設立に至ったのか。スポーツ大会等事業委託料の520万円は、本当に必要なのかはなはだ疑問である。</p> <p>本来であれば市主催の大会は、1から2大会で十分のはずであるが、競技によっては地区別や複数の大会を委託事業としてしていると聞いているが、各競技において委託事業となっている件数と金額を伺いたい。</p> <p>②小・中学校の学区の見直し、適正配置（再編）の検討についてお伺い致します。まず、前期実施計画の中では燕市学校教育基本計画を策定し、小・中学校の学区の見直し適正配置（再編）について検討を行います。20年度は児童数・学級数の調査と年度の比較検証、21年度～22年度にわたり燕市の学校の適正配置審議、23年度燕市学校教育基本計画の策定・公表となっている。</p> <p>しかし、今年5月にまとめた燕市学校教育基本計画では、25頁の「重点施策16 少子化に対応した教育環境の整備」の中の施策の方針で、</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
13	大原 伊一	<p>市内全域において少子化に伴い学校の小規模化が進んでいます。大規模校や小規模校の解消を図り、よりよい教育環境を維持していくため、市内全域において学校の適正規模や適正配置の検討を進めます。</p> <p>①学校の適正規模・適正配置では、急激な少子化に伴い、学校が小規模化すると活力ある教育活動ができにくいなどの問題が生じています。このため、適正な学校規模を確保し、子どもたちにとってよりよい教育環境を提供するとともに、いっそうの教育効果の向上を図ることを目的とした学校の適正規模・適正配置について検討します。</p> <p>②通学区域の弾力化では、現在、通学区域は、通学距離・通学の安全性・地域性・歴史的経過等を総合的に判断し決定しています。このような状況を踏まえながら、「燕はひとつ」という視点、学校の適正規模・適正配置の視点から通学区域の在り方を検討します。</p> <p>とあります。平成21年度～22年度にわたり行われた燕市の学校の適正配置審議について内容を伺いたい。また、なぜ燕市学校教育基本計画に小・中学校の学区の見直し、適正配置を盛り込めなかったのか理由も合わせて伺いたい。なお、参考として合併後の出生数を年度ごとにお聞かせください。</p> <p>③今議会で燕市総合計画後期基本計画（案）が提出されたが、燕市行政改革大綱後期実施計画（案）について伺います。議会に提出時期は何時になるのか。内容については、前期計画を踏襲したものになると思う。新庁舎建設に伴う事務事業の見直しも大胆に行われると期待しているが、どのような改革案となるのか伺います。また、国の財政の不安定さを考えたとき、経常収支比率の目標を80程度に持っていくことで、財政の柔軟性を増して一層の健全化を推進すべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 豪雨被害について</p> <p>(1) 7月24日から8月1日にかけて新潟、福島両県などに大きな被害をもたらした豪雨について、</p> <p>①市内における被害状況について伺います。</p> <p>一般世帯の被害状況と被害額について、農作物被害について、今後の対策について、市として大河津分水路の拡幅を新潟県市長会の最重点要望事項とする運動をする必要があるのではないか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	タナカ・キン	<p>1. 消雪パイプによる夏の暑さ対策について</p> <p>8月11日付の新潟日報に、長岡技術科学大学の資源エネルギー循環研究室が同市の中心部で行った、消雪パイプを使った打ち水実験の報告の記事が掲載されていた。散水後の路面は約20度冷やされ気温が最大で約1.9度下がったところもあったという。同研究室は「環境に負荷をかけず街を冷やす効果があった」としている。</p> <p>平成19年9月定例会で、夏の暑さ対策と商店街の活性化の観点から、消雪パイプを使った打ち水を提案したが、そのときは理解してもらえなかった。</p> <p>今年の夏も猛暑が続き、燕市でも6月～8月30日までで40人が熱中症で救急車で搬送されている。来年以降もこの暑さが続くと推測されるが、燕市も暑さ対策や商店街活性化に消雪パイプを生かせないものだろうか。</p> <p>2. 観光協会の統合について</p> <p>合併から5年半が経過したが、分水地区観光協会と燕地区観光協会が依然として別れたままである。</p> <p>三条市ではこの7月に、やはり三条市にあった二つの観光協会。三条観光協会と下田郷観光協会が統合され、新しく三条観光協会が設立された。</p> <p>今回の設立については「合併して6年が経過するにあたり、より機動的、アグレッシブ・アクティブに進めていくにあたり、組織の一本化と見直しを進める必要があった」と説明されている。燕市では今までも議員からたびたび提案されてきたが、実現には至らなかった経緯がある。現在、燕市は弥彦村と観光面で協議中である。であれば燕市もいつまでも二つにしておく意味がない。統合する時期に来ているのではないか。</p> <p>3. 墓地・埋葬等に関する条例について</p> <p>市は、吉田法花堂地内で胎内市の宗教法人「越後の里親鸞聖人」が墓地建設を計画、燕市に建設許可申請を行っていた件は、7月20日付で同法人に対し、申請不許可という決定を下した。</p> <p>しかし、当初から民間業者が進めていた墓地計画と聞いている。法律では墓地を営営できるのは、(1) 地方自治体 (2) 宗教法人 (3) 公益法人に限られている。であれば民間業者が営営できないのは分かっていたはずである。</p> <p>7月13日の「市長とのふれあいトーク」において、建設予定地に隣接する桜町の住民の質問に対し、市長は「法律に沿って適切に」と答えられていた。法律に沿って不許可の決定を下したのなら、その理由をお聞きしたい。</p> <p>また、墓地埋葬法自体、昭和25年に制定されたもので、近年実態に合わなくなっていることから、墓地・埋葬等に関する条例を独自に制定している自治体（県内では、新潟市、十日町市など）もある。燕市でも今後このような業者につけ込まれないためにも条例を制定すべきと思うが。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	タナカ・キン	<p>4. 100年コンクリートについて</p> <p>市は新庁舎建設にあたり、長寿命化コンクリートを使用することになっている。この長寿命化コンクリートが100年コンクリートと呼ばれているものである。3.11の大震災では、東北3県は信じられないダメージを負った。今後、復興していく中で庁舎などの公共施設・道路・橋など多くの建造物が造られていく。</p> <p>燕市がモノづくりのまちとして、100年コンクリートによる新庁舎建設をアピールすれば、東北3県はもとより、全国から多くの自治体が視察に訪れるだろう。市長の『日本一輝くまち』を目指すというコンセプトに合致していると思う。ぜひ、100年コンクリート（長寿命化コンクリート）による新庁舎だと発信していただきたい。</p> <p>5. 在宅介護手当の見直しについて</p> <p>3月定例会では、「市民（利用者）の声も聞かずに提案するのは乱暴な手法と思わないか。また、市民の声を聞くためのアンケートの実施は」などの質問をしたが、期待した答弁は得られなかった。</p> <p>また、6月定例会では、田辺議員の高齢者福祉問題についての質問には、介護保険運営協議会で審議していくとの答弁がありました。</p> <p>(1) この在宅介護手当の見直しについても、当然、この介護保険運営協議会で審議されたはずですが、そこでは委員からどのような意見が出されていたのか。また、この協議会の委員の構成についてもお聞きします。</p> <p>(2) 今後の取り組みとして「高齢者福祉の在り方研究会」を立ち上げ、調査・研究をしていくとのことですが、この調査・研究のため利用者のアンケートは実施されるのか。また、この研究会の委員の構成は。</p> <p>(3) 市長は、今までも23年度に1年をかけて周知をしていくと説明している。まだ5カ月しか経っていないが、今までにどのような考え方、方法で周知してきたのか。また、今後は。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	阿 部 健 二	<p>1. 被災地復興より新庁舎建設が優先か</p> <p>日本文学研究者のドナルド・キーンさんが進駐軍の兵士として日本に来ていたとき、靴みがきの少年にパンをあげたら、空腹のはずの少年はそれを口にせず「妹に食べさせるんだ」とズックのカバンに大事にしまい込んだという。それがドナルド・キーンさんを日本に帰化させる動機の一つだと聞く。</p> <p>一方、ドイツのシュレーダー首相は、アウシュビッツ開放 60 周年の演説で、「ナチ・イデオロギーには人々の思考の粗暴化と道徳的に自制を失った前提がある」と語っている。</p> <p>ところで、震災復興で莫大な金が必要な国に合併特例債のオネダリはいかがかという 6 月議会での問いに、市は『災害復興の規模・期間を考えると（国の）本格的な復興プロジェクトが始動する前に実施したほうが有利だ』と答えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興プロジェクトが始まる前に新庁舎を建設するという考えは、危険なカケに思えるが。 <p>2. いよいよはじまる問題数多の新庁舎建設について改めて問う</p> <p>(1) 合併特例債については、鳥取県庁のホームページで発信されている『交付税措置のある地方債』という情報から想定されるその危うさについては、何年も前からくり返して訴えてきた。前市長は「たとえ特例債が担保されても真水部分（いわゆる普通交付税）が少なくなると困ると国会議員や全国市長会を通じて強く要望している」と言っていたはずである。</p> <p>が、3 月議会での答弁は「鳥取県の発信情報は、交付税措置のある地方債を少しでもわかりやすく工夫された説明だと思うが、表現の仕方が誤解を招く可能性もあるのかなというふうに考えている」と、まるで他人ごとである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それは、交付税が減ろうが、税収が減ろうが、自分たちの収入には響かないことからきているかなと考えてしまうのだが、いかがか。 ・また「誤解を招く可能性」とは何をさすのか。 <p>(2) かたや、シティーホールや体育館などさまざまな機能を集め、空洞化が進む市街地に人を呼び戻そうと市役所を駅前に移す長岡市。かたや、吉田駅と 116 号線に挟まれて交通アクセスも良く、何一つ不都合のない現吉田庁舎を捨てて、わざわざ不便な田んぼの中に新庁舎を造る燕市。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトで暮らしやすい都市の実現をめざす『燕市都市計画マスタープラン』を掲げながら、田んぼの中に新庁舎を造る、そのココロは。 ・新庁舎の近くをかすめるはずの 116 号バイパスは、いつできるのか…否、できるのかできないのか。 <p>3. 議会制民主主義について市長の考えを問う</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
16	齋藤紀美江	<p>1. こども夢基金について</p> <p>(1) こども夢基金の使い道として 1. 市または教育委員会が行う次世代人材育成推進のための各種事業 2. 市民または市民団体が主体的に行う子育て支援活動および青少年健全育成活動への助成 3. 子ども自らが企画し実行するユニークで夢ある活動への支援とある。1は実行されたが、2・3については未だに実行に移されていない。市民や子どもたちへの企画の募集はいつ提案されるのか。基金が不安定なままでは継続性に不安がある。どのように考えているか。子どもの夢を形にするには資金面だけではできない。支援体制をどう考えているか。</p> <p>(2) 子どもの自然体験は学力向上にもつながると全国学力調査時の生活調査の報告にもある。青年会議所が毎年夏休みに子どもたちに4泊5日で下田地区から弥彦山登山までするという取り組みを行っている。子どもたちは全員ゴールに到達している。そのときの達成感は計り知れないものがあると思うし、子どもたちの人生の大きな基礎となる事柄だと思う。このような取り組みが必要ではないか。</p> <p>2. 在宅介護手当の見直しについて</p> <p>(1) 介護保険が導入されることにあわせて介護保険の理解と利用を進めるために、旧燕市で支給が始められた「在宅介護手当」の見直しが提案されている。</p> <p>市長の「市民とのふれあいトーク」のときにも意見が出されていたが、在宅で介護を受けている人たちや、介護をしている人たちにとって経済面や精神面で大きな支えとなっている。特に経済的に困っている人たちにとってはなおのこと介護サービスを受けられる基盤となっている。そのことの認識はあるのか。一律に要支援1から要介護2までを無しにするのではなく、経済的弱者は残す方法は考えられないか。</p> <p>3. 高齢者医療情報キットの配布について</p> <p>(1) 6月議会で同僚議員が提案をされていた「高齢者医療情報キット」の配布については必要性があると思う。安心カードを配布しているが、A4の用紙に書き込むだけのもので保管場所の指定はあるのか。書き込まれているのかどうかの確認はされているのか。救急搬送のときにそのカードが生かされたことがないと聞いている。せっかくお金と労力を使ってなされていても活用されなければ意味の無いことと同じになる。見直しが必要ではないか。</p> <p>4. 市民協働の認識について</p> <p>(1) まちづくり基本条例が制定されて取り組みが始まっている。一緒にまちづくりをしていきたいと思います。行政がするよりも市民が取り組むことで、より柔軟な事業ができるし効果もあると思う。市民活動を活発にすることで少ない資金でより有効な取り組みができると思うが、行政側の意識の持ち方や体制づくりがまだできていないように思うがどうか。また、市民活動を進める上で行政側ができることはなにか。課題の整理は進められているのか。</p>